

ちびキャラトーク (パターンE)



ちびキャラトークのナイト3：ケイト/メイジ4：ヴァネッサ/ヒーラー3：モル/プリンセス1：マロンのトーク詳細。

▶ 1日目

「あら、ハントマンのかた？
はじめて見る顔ですね。>
わたしの名前は
竜と戦うためにこのカザンにやってきました。
一緒にがんばりましょうね！>」()

▶ 2日目

「こんにちは。
よく会いますね。
あなたには仲間はいますか？>
わたしは故郷の仲間たちと
戦いに出る約束をしています。
この木の下で
待ち合わせをしているんですが...>」()

▶ 3日目

「...>
あ、ごめんなさい...
少し考え事をしていたので...
わたしはもうしばらくここで待ちます。
まだ仲間たちが来てないんです。>」()

▶ 4日目

「...>
ずっと待ってるんですけど...
まだ、来てないんです。
でも、もう少し待ってみます...>」()

▶ 5日目

「...」

結局

仲間たちは来ませんでした。>

やっぱり

もう来てくれないのかな...?>」()

▶ 6日目

「あの...」

もし良かったら話を聞いてくれませんか?>」

YES

「わざわざありがとう。

今日はもう遅いから

明日ゆっくりと話しますね。>」()

NO

「時間をとらせてしまっておめんなさい。

わたしってなんて自分勝手なんだろう。>」

▶ 7日目

「わたしたちは故郷をでてから

ずっと4人で旅をしてきました。

でも、旅の途中で竜に襲われて...

その時、仲間の一人を失いました。>

わたしが守らなくちゃいけなかったのに...

力不足だったばかりに...

そんな私に失望して

みんな故郷へ帰っていきました。>」()

▶ 8日目

「みんなが故郷に戻っていった時、

わたしは裏切られたような気がしました。>

いやな人ですよわたし。

だって

全部わたしのせいなのに。

あなたもそう思うでしょう...?>」

YES

「そうですね...

あなたの言う通りです。

わたしは身勝手に、弱くて...

何のとりえもない...>」

NO

「あなたは...

▶ 優しいんですね。>」()

▶ 9日目

「わたしはきっといつまででも待たないと
いけないと思うんです。
たとえ仲間たちが来てくれなくても
ずっとここで待つ必要があるんです。>
以前、仲間たちは私を信じてくれた。
わたしはそれに応えることができなかった。
信じてくれた分、
今度はわたしが信じなければ...。>」 ()

▶ 10日目

「あなただったら
一度自分が傷つけた人が
自分のところに戻ってくるまで
待つことが出来ますか？>
相手が自分のしたことを
許してくれると信じる事が出来ますか？>」

YES

「あなたは強い人なんですね...
わたしも少しは見習ったほうが
いいのかもしれないね。>」 ()

NO

「きっとそういう風に考える人のほうが
多いんだと思います。>」

▶ 11日目

「ずっと南の森に
竜が出たらしいですね。
この街にも
いずれやってくるんでしょうか...。>
そうなったら誰かが
この街を守るために
戦わないといけませんね。>」 ()

▶ 12日目

「ずっと旅にも出ずこの街で
待っていたから
すっかり体がなまってしまいました。>
ひさしぶりに体を動かしたいな。
もしよかったら手合わせ
してくれませんか？>」

YES

「...っ！
ふうっ...ふうっ...
お強いですね！
いい運動になりました。>」 ()

NO

「わかりました...
一人でトレーニングを
することにします。>」

▶ 13日目

「ねえ、昨日の手合わせの感想を
きいてもいいですか?>

わたし

戦いにむいてないでしょうか...?>」

YES

「正直に言ってくださってありがとう...

今の弱い自分を

きちんと見つめなきゃいけないですよね。>」()

NO

「気休めはやめてください。

わたしは

やっぱり何のとりえもないんです...>」

▶ 14日目

「あーあ...

どうやったら強くなれるんだろう。>

わたしがもう少し強かったら

あの子だって...

命を落とさずに済んだかもしれないのに...>」()

▶ 15日目

「わたし

なにやってるんでしょうね。

故郷の仲間を失って

一人で意地をはってこんなところにいる...>

もうなにをしたらいいのか

わからなくなってきました。

どうしたらいいんだろ...>」()

▶ 16日目

「あ、あの...>

...お願い。

少しだけ

一緒にいてもらえませんか?

なんだか不安で...>」

YES

「...ありがとう。>」()

NO

「...」

目に埃が入っただけです。
こっちを...見ないで。>」

▶ 17日目

「昨日はありがとう。
わたしやっぱり
本当に戦いにむいてないみたい>
私も故郷にかえろうかな...
こんな私がいても役にたたないし
私も故郷にかえったほうが
いいのかな。>」 ()

▶ 18日目

「あ、あの...
1つだけ聞いてもいいですか?>
もしもわたしが
突然いなくなったとしたら
あなたは待っていてくれますか?>」
YES
「...ありがとう。
勇気がでてきたわ。
わたし、信じることにする。>」 ()
NO
「と、当然ですよ...
へんなことをきいちゃって
ごめんなさい
気にしないでくださいね。>」

▶ 19日目

「昨日はへんなことを聞きちゃってごめんね。
でも、すごくうれしかった。
じつはね、それ以外にも
すごくうれしいことがあったんです。>
仲間たちが...
帰ってきたの!>」 ()

▶ 20日目

「みんなは亡くなったこの家族が
ちゃんと暮らしていけるように
故郷で準備をしてくれていたみたい。>
一瞬でも疑った
わたしが馬鹿でした。
...全部、あなたのおかげね。>」 ()

▶ 21日目

「ついにこの街の近くにも竜が出たみたい...
大統領府で討伐隊に参加する
ハントマンを募集していたわ。>
今日、仲間たちと相談するの。
討伐隊に参加するかどうかを決めるのよ。
もちろん...
わたしの心は決まってるわ。>」()

▶ 22日目

「今日、大統領府にいて
討伐隊に志願してきたわ。>
心配しないで。
仲間たちと一緒に決めたの。
この街の人のために戦うって。
死んでいったあの子のためにも...!>」(ハート)

▶ 23日目

「今回の戦いは大きな戦いなんだって。
でも大丈夫!
わたしには仲間たちがいるし...>
わたしを信じて
帰りを待ってくれる人もいるしね...!>」(ハート)

▶ 24日目

「ねえ
お願いがあるの。>
明日...
ここに来てくれないかな?」
YES
「待ってるから...
絶対だよ?>」(ハート)
NO
「...そう。
仕方ないよね
やっぱりわたしは役立たずだし...>」

▶ 25日目(最終日)

「来てくれたんだね...
私の大事なモノ
あなたに捧げます...。>

この木の下でわたしと会ったこと
忘れないでいてね...>

(パスワード表示)>

メモ、してくれた?>」

YES (ハートいっぱい)

「ありがとう...>

あなたはわたしの力になってくれた。

だからわたし

絶対あなたのこと忘れない。>

わたしはちゃんと帰ってくる...

だから

この木の下で

また会いましょうね。>」

NO

パスワード表示画面に戻る